

小・中・高等学校を通じた「確かな学力」の育成に向けた今後の取組 ～平成14年度高等学校教育課程実施状況調査の結果を受けて～

学習指導要領の一部改正（H15.12.26）を踏まえた教育課程及び指導の充実・改善 【文部科学省 各教育委員会】 各学校に求められる取組

調査結果や学習指導要領の一部改正の内容を周知徹底

・各種会議等での説明
・教員研修会での活用の推進
・「総則」の解説書の補訂等

基本的な考え方

学習指導要領を踏まえ、小・中・高等学校を通じて、基礎・基本を徹底し、思考力・判断力・表現力等を含む「確かな学力」を育成

具体的な改善方策

- ① 児童生徒の学習状況や教育課程及び指導の実施状況について自己評価を実施し、取組を改善
- ② 児童生徒の学習状況に応じて、標準時数にとらわれず必要な指導時間を確保して、各学年・各学校段階で児童生徒に基礎・基本を徹底
- ③ 習熟度別指導や発展的・補充的な指導など個に応じた指導を一層充実し、「わかる授業」に向けた取組を推進
- ④ 実生活や自らの在り方生き方等と関連付けた指導を推進し、学びへの関心、学ぶ意欲を向上
- ⑤ 理科、数学について効果的な観察・実験、コンピュータの活用等を通じた指導の実施により理解を促進
- ⑥ 家庭と連携して、児童生徒の基本的な生活習慣や学習習慣を育成

指導の改善の分析

【教育課程研究センター・中教審】

- 科目別に詳細な報告書を作成
- 中央教育審議会教育課程部会に「教科別専門部会」を設置し、調査結果や指導の改善を審議

各種支援事業等【文部科学省】

- 学力向上フロンティアハイスクールの成果の普及
- 科学技術・理科大好きプラン、英語が使える日本人」の育成のための行動計画の推進
 - ・スーパーサイエンスハイスクールの拡充（45→60校）
 - ・サイエンス・パートナーシップ・プログラムの実施・推進
 - ・スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールの拡充（50→85校）
- 国語力向上推進事業の実施
- 第6次教職員定数改善計画の着実な推進 等